EPO中部・協働コーディネーターについて

■協働コーディネーターとは

コーディネーターとは

…様々なネットワークの要となり、参加と協働をデザインしていく専門家

協働コーディネーターの役割

…①ファシリテーター、②コーディネーター、③評価のアセッサー(特に協働評価の評価者) 「協働コーディネーター~参加型協働社会を拓く新しい職能~」世古一穂・編著(ぎょうせい)

■ EPO中部・協働コーディネーターとは

EPO中部・協働コーディネーター: 中部エリアにおいて、EPO 中部と共に「協働」を追求し、「協働」を楽しみ、持続 可能な社会づくりを進める地域のお手伝いをしていただける方

- 現在、12名のコーディネーターがEPO中部に協力。
- 地域循環共生圏づくりでも多様な主体が協働して(プラットフォームを構築して)地域活動等に取り組む際のお手伝いが可能。
- パンフレット「協働による地域循環共生圏づくり」参照。

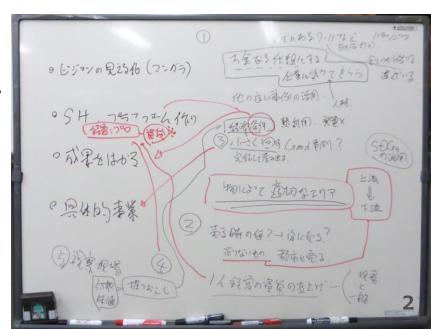
参考)EPO中部・協働コーディネーターによるディスカッションにおいて

「地域循環共生圏づくり」に取り組む上で必要(重要)となる事項とは

- ① 事業をお金になる仕組みにする必要がある。(企業の参画、ビジネス人材が必要)
- ② まずは小さなマネージメントで実施・スタートして成功を得る。(成果の見える化)
- ③ 事業それぞれに「適切なエリア」が存在することを認識する必要がある。(ビジネス圏域・調達先・販売先としてのエリア設定のあり方)
- ④ ステークホルダー(活動のプラットフォーム)の中に経営の資質を持った人材が必要。 (従来の「環境保全」に加えて、ビジネス、マネージメントの資質・感覚も重要)
- ⑤ そのほか
 - ▶ 付加価値の掘り起こしをいかに行うか。
 - ▶ ステークホルダーの体験共有も重要。(データのみでなく視察等でのメリット実感など)



EPO中部は、協働コーディネーター共に、 地域循環共生圏づくりに関わる情報、課題、 事例等の共有の場づくりを展開予定



参考資料)パンフレット「協働による地域循環共生圏づくり」

EPO中部・協働コーディネーターと活動見える化プログラムについては、こちらのパンフレットをご参照ください。

